

情報の取捨選択

(^_^) 生活に役立つ情報

私たちが日常生活において何か情報を得たいと思った場合、新聞やテレビ、ラジオ、書物などが情報源となります。しかし、時として友人たちから得られる情報が役に立つこともあります。インターネットはそのように人と人との仲立ちをし、情報を提供してくれる役割を果たしています。しかもその提供先は世界中に広がっています。

インターネットを介して役に立つ情報を提供してくれるのは、学校、官公庁、警察、報道機関、一般企業、善意で情報を提供する個人などさまざまです。Web ページの中には、例えば、医学や経済の専門家などが私たちの相談に答えてくれるものもあります。ふだんは話すこともない人からでも、チャンスがあれば情報を得ることができます。また、何か商品を購入したい場合もインターネットを通して購入することが可能です。わざわざお店まで出向いて行かなくても自宅にいながら購入できます。

ネットショッピング、ネットオークションや、旅行のための列車の予約、航空券の購入、ホテルの予約、地図の検索、ニュースや天気予報などの速報、テレビ、音楽、映画の紹介、会社案内や求人情報、ゲームや占い、さまざまなサイトがあります。また、インターネット上のコミュニティが掲示板やチャットなどで形成されています。現在では、インターネットが私たちの生活を豊かにする道具（ツール）のひとつになっています。

(T-T) 違法行為

インターネットを使うときには、まず目的を明らかにし、検索サイトを有効に活用し、不必要な情報に惑わされないことが大切です。また、インターネットから得られる情報がすべて正しいものとは限らないことも事実です。したがって、情報の提供元が信頼できるものなのかを考えるとともに、情報の信ぴょう性についても常

に考えて利用しなければ、知らないうちに犯罪に巻き込まれる危険性があることを認識しておく必要があります。

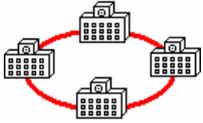
インターネットが人と人とを結ぶメディアであり、誰もが簡単に参加できる開かれた世界であるため、悪意をもった人がこの世界の中で犯罪におよぶこともあります。

いわゆるハイテク犯罪と呼ばれる犯罪には、不正アクセス行為の禁止等に関する法律（不正アクセス禁止法）に規定された違法行為や刑法に規定されている電子計算機損壊等業務妨害罪を始めとしたコンピュータもしくは電磁的記録を対象とした犯罪とそれ以外のコンピュータやネットワークを手段として利用した犯罪があります。後者の犯罪には次のようなものがあります。

- 禁制品等の販売に関するもの
 - ・ 覚醒剤や麻薬等の薬物を販売している。
 - ・ 拳銃またはその疑いのあるものを販売している。
 - ・ トルエンやシンナーなどの毒劇物を販売している。
 - ・ 児童ポルノを販売している。
- 詐欺や悪徳商法、著作権侵害に関するもの
 - ・ お金を送ったのに商品が送られてこない。相手とも連絡が取れない。
 - ・ ネズミ講を勧誘している。
 - ・ コピーソフトを売っている。
 - ・ 身に覚えのないクレジット代金を請求されている。

このほか、犯罪を教唆するサイトもあります。このような違法行為を行うサイトや不適切な情報を流すサイトは、それを利用する人たちがいるために存在しているともいえます。安全で健全なネットワーク社会の発展のためには、利用する側がこのようなサイトを利用しないようにしなければなりません。

インターネットは私たちの生活の中に入り込み、ますます発展していくことが予想できます。インターネットを利用したために、犯罪に巻き込まれないように、適切な利用の仕方や対処の方法を学校で指導していく必要があります。



情報の収集

Web ページの中にはさまざまな Web ページにリンクしたものがああります。また、検索サイトで情報検索を行った場合には、目的とする情報にたどり着くまでにさまざまな魅力ある Web ページを発見したりします。そのたびに Web ページに寄り道しては、なかなか目的とするページにたどり着けません。

よく利用する Web ページに関してはブラウザソフトに分類をして登録しておくとか、リンク集を作っておくとかすれば、効率的に情報検索ができるでしょう。また、よく利用する Web ページの基本的な構造を把握しておくことも情報を的確に得ることに役立ちます。

次にいくつか公的機関の URL を紹介します。これらを参考に、学習指導に利用できる Web ページをまとめておくことも、学校情報ネットワークを活用する上で、有効な方法です。

- 文部科学省ホームページ
 - ・ <http://www.mext.go.jp/>
 - ・ 各種統計データや文化庁、まなびネット、国立大学・短期大学、国立高等専門学校、研究所、博物館、美術館、少年教育施設、各研究機関などの関連 Web ページにリンクできます。
- 教育情報ナショナルセンター
 - ・ <http://www.nicer.go.jp/>
 - ・ 学校教育、社会教育、体育スポーツ、教育用ソフトコンテンツ紹介、生涯学習に関する情報が得られます。
- 総務省行政管理局「電子政府の総合窓口」
 - ・ <http://www.e-gov.go.jp/>
 - ・ 首相官邸、人事院、内閣法制局、内閣府、各種省庁、大使館、領事館、財務局、税関、国税局、大学、高専、研究所、博物館、労働局、厚生局、病院などさまざまな Web ページにリンクできます。

- 総務省統計局・統計センターホームページ
 - ・ <http://www.soumu.go.jp/>
 - ・ 各種統計資料が得られます。
- 大阪府教育委員会ホームページ
 - ・ <http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoikusomu/homepage/index.htm>
 - ・ 各種資料が得られます。
- 大阪府教育センターホームページ
 - ・ <http://www.osaka-c.ed.jp/>
 - ・ 「情報提供」のページに教材コンテンツ、府立学校、府内の教育委員会などへのリンクがあります。

Q . 学校情報ネットワークでは有害情報のフィルタリングは行われていないのですか。

A . 学校情報ネットワークにおいては、特定のサイトへのアクセス制限を行うフィルタリングの仕組みを準備し、コンピュータウイルスを発信しているサイトへのアクセス制限などセキュリティ確保のために運用しています。また、有害情報のフィルタリングも行っております。インターネット上に流れるいわゆる有害情報は、数年前には想像もできないくらい急速に増加してきています。府教育委員会といたしましては、「大阪府 青少年健全育成条例」改正を踏まえ、府教育センターのフィルタリングシステムを再度見直し、不適切な情報を児童・生徒が閲覧することのないよう、有害情報に対するフィルタリングをさらに強化することとしています。



生活に役立つ情報

- 1 本時の位置 LAN 教室のパソコンの操作に慣れ、ワープロソフトの基本を習得したのちに行う。また、検索サイトの利用ができ、有害サイトの存在を理解していること。
- 2 指導目標 目的を持ってインターネットを利用し、情報の信頼性について考えながら、収集した情報を整理、活用する方法を習得させる。
- 3 目標行動 目的を持って情報の検索をし、必要とする情報を短時間で収集、整理することができる。また、インターネット上の違法行為について判断ができる。
- 4 留意点 情報モラルの育成の観点から、次の事項を理解させる。
 - ・ 情報の信憑性
 - ・ 著作権
 - ・ 違法行為
- 5 準備 ブラウザソフト及びワープロソフトを同時に使用するための必要な準備をする。検索、まとめ、発表の班分けをする。

6 展開

	学習内容	学習活動	留意事項	評価規準
導入	○ インターネットを利用する際の心構え	○ インターネットを利用する上での注意点について考える。	○ インターネットの中に潜む違法行為、犯罪についても意識させる。	○ インターネットに潜む危険性について説明できるか。
展開	○ 項目の設定 ○ 情報の検索と収集	○ 日常生活において情報が必要となる具体的な場面を想定し、必要とする情報について項目としてあげる。 ○ 検索サイトを利用して情報を収集し、それをワープロソフトで整理し、情報が掲載されていた Web ページの URL も含めて、入力していく。	○ 必要な情報について、整理された形で表現させる。 ○ 情報収集を行った Web ページがどのような人や組織が作ったのかを意識させる。 ○ URL をブラウザソフトからコピーし、貼り付ける方法を知らせる。	○ 収集しようとしている情報が明確に把握できているか。 ○ 目的とする情報を検索できたか。 ○ 一つの情報について、複数の Web ページで確認したか。

展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 収集した情報のまとめ ○ 発表 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 違法な Web ページについて考えながら、各班で情報検索を行う。 ○ ワードソフトに蓄えられた情報をより活用しやすい形に編集する。 ○ どういう状況を想定したかを説明し、集めた情報について発表する。 ○ 他の班の発表を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 違法行為などを生徒が発見した場合は、その場で、担当教員に申し出るよう指導する。その際、URL を記録するとともに、違法性について、生徒とともに考え、警察への連絡等も行う。各都道府県警察には、ハイテク犯罪の窓口があることを示す。 ○ 発表することを考慮したまとめ方を助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすくまとめることができたか。 ○ 発表の中に何らかの工夫ができたか。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○ まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ インターネットを用いて情報収集する際の注意事項を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 違法行為などを発見した場合の対処方法を示し、インターネットの利便性と危険性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を取捨選択し、整理することができるか。

参考：大阪府警察サイバー犯罪対策推進本部 http://www.police.pref.osaka.jp/05bouhan/high_tech/

